



SSKP つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1998年7月号
(No.24)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 0427(96)8468

キヨーフの夏休み

さあ、夏休み

子ども達の待ちに待った夏休みです。でも障害児の親にとっては憂鬱な夏休み……。

四十日もの間、学校に行かないわけでは、家にずっといるわけでは、普通の子どもなら、勝手に外出して遊んで来てくれます。でも障害児の場合、そう簡単にはいきません。

去年までとは違う

つくしんぼは放課後活動はもちろんです。夏休み等の長期休暇にも対応出来るようにという思いでスタートしています。去年と一昨年は職員がいませんでした。だから必然的に、夏休みの活動も親子で参加する形態をとっていました。

でも、今年はずいぶん違います。職員がいます。

だけど、やっぱり困った

放課後の活動の場合、つくしんぼにやって来る子どもの数は、毎日多くても七、八人といったところ。子ども達はそれぞれ療育などに通っており、人数は分散していたため、四人の職員だけでもなんとかやってこれました。

でも、夏休みは普段とは違います。なにしろ学校がないのです。子ども達全員がいつ頃につくしんぼにやって来る可能性

だつてあるわけです。十五人

も子ども達を、たった四人の大人でみれるものではありません。一対一対応の必要な子どもだつて、かなりいるのです。

職員を増やすことは、経費の面からして不可能です。ボランティアさんを探してもみただけですが、一日限りという方が多いのが悩みのタネです。

考えてみれば

先日の父母会、夏休みの活動について話し合いました。(つくしんぼは子どもの施設なので、活動内容等については扶養義務のある親達と職員が一緒になって考えることにしています)

で、結局……

夏休みの計画表には、去年までと同様、親子参加で楽しむイベントをたくさん盛り込むことにしました。お母さん達は今年も日焼け止めクリームが手放せないようです。

そして、どう考えても完全親子分離の活動は無理だという結論に至りました。

でも、よく考えてみると、もともとつくしんぼは余暇を有意義に過ごせるように、という思いからスタートしたのです。親の就労保証は今のところ不可能なわけですし、無理して親と離れなければならぬ理由はないわけです。家に籠もって親子でイライラしなくて済むだけよっぽどマシなのです。

♪♪つくしんぼ日記♪♪

5月30日(土) 天気 晴れ

ドミノピザ店さんの「子どもピザ教室」に招待されました。今回で二回目です。

みんな張り切っています。張り切りすぎて髪面を出しちゃった子も!! それを見てあるお母さんが「もうケチャップを顔につけちゃったのかと思ったあ!」いつも以上にひょうきんです。

さて、ピザづくり。ピザ生地をたいたのは好きな具をトッピング。「エビよ!エビ!!」カウンター越しに顔をのぞかしているお母さんの声。チーズを山のように盛っちゃう子。ここぞとばかりにピザとチーズを頬張る某職員……。

ドミノピザさん、とうもろこし迷惑をおかけしました。



つくしんぼ 田植えごよみ ~7月5日~



一ヶ月でこんなに大きくなりました!!



暑くなり、つくしんぼの発泡スチロールの田んぼもスクスク成長しています。もう40センチぐらいの背丈があります。

という、順調に育ったみたいですが、実はちよつと違うんです。

最初に植えた苗、肥料のやり過ぎて枯れちゃったんです。で、もう一度苗を貰って植えなおした次第です……。

今度は多分、いや、絶対に枯れさせません。

もちろん、水をやり忘れなければの話なのですが。

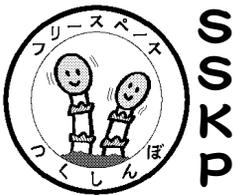
ガレージセールへの ご来店、ありがとうございました。

6月28日に開いた「第五回つくしんぼガレージセール」に多数お越し頂き、本当にありがとうございました。



今回のガレージセールはとっても盛況でした。午前十時の開店時にお客様でつくしんぼの庭が埋まってしまっただけ!! こんな経験は始めてなので、私達の方がビックリしてしまいました。売り上げは、つくしんぼをささえる会の方へ入金させて頂きました。

- 次回も秋に行う予定です。またよろしくお願ひします。
- ご寄付・ボランティア
ありがとうございました
- 高尾様、箱崎様、坂井様、田上様、高倉様、新卓様、五味様、関寺様、滑方様、今村様、藤原様、森田様、田中様、佐藤様、堀内様、武田様、岡田様、神長様、平野様、松本様、馬場様、橋詰様、小池様、伊佐様、小林様、関原様、長谷川様、高橋様、小山様、高武様、菅野様、山崎様、木賀様、池田様、松山様、山下様、氏原様、岩本様、新卓様、三田村様、植田様、深田様、ドミノピザ様、匿名でバザー品を寄付して下さい皆様(6月)
- ささえる会ご入会・ご更新
ありがとうございました
- 青木様、福井様、山田様、佐藤様、藤本様



つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

つくしんぼは月曜日から
金曜日の放課後～午後5
時まで開いてます!!



ラヂオの時間!?

先日、つくしんぼがバザーを開いた6月28日のことです。

NHK第二ラジオから放送されているNHK大阪放送局制作の「ともに生きる」という番組の中で、つくつく通信が紹介されました。

その放送の内容をテープ起こしにて紹介させて頂きます。(採録の許可は頂いています)

男アナ「それでは最後に東京都町田市にありますフリースペースつくしんぼが発行していますつくつく通信をご紹介します」

女アナ「はい。フリースペースつくしんぼは、放課後や夏休みなどの長期休暇の時の遊び場が欲しいと、障害児の親達が集まってスタートした放課後活動の場なんだそうです」

男アナ「障害があるために集団で遊ぶのが苦手だったり、一人で外出出来ない子供さんの場合、学校が終わると家の中に閉じこもってしまうことになってしまいうことでもありますからね」

女アナ「そうですね。障害児は、学童保育では受け入れて貰えないこともあるそうですね。また、最近では自由に遊べる原っぱも少なくなりました」

女アナ「では第21号より、ゼロからのスタートという文章を読ませて頂きます。『フリースペースつくしんぼは、この四月よりデイサービス事業として認められ、東京都と町田市の両方から補助金を得ることになりました。活動を始めて足かけ二年、早かったような遅かったような、どうにも不思議な感覚です。つくしんぼをはじめたきっかけは、実は単純なものでした。町田市の南地区には福祉施設は一つもない。おまけに今は学齢期の障害児の放課後対策が問題になっている。だから間違いなく補助金が降りる、という情報を信じ、よしそれなら、とスタートしてしまっただけです。ところが始めてすぐ、障害者プランが完成するまでは一切の新規施設が認められないという情報が飛び込んできました。だからといって、親達が集まってせっかく始めたつくしんぼです。結局私達は、お金がまったくないままに、親達の努力だけで細々と続けることにしました。」

え、嘘になりますか、この二年、楽しかったことも事実です。活動拠点とする家を借りてしまった以上、最低家賃分のお金を捻出しなければなりません。つくしんぼは古い農家を一件借りているようなんです。女アナ「『そのために、バザーもお祭りでの出店もやりました。また、いろいろな方とめぐり会えました。オモチャもたくさん寄付して頂きました。ファンヒーターも何台も頂きました。レギュラーで来て下さるボランティアの方々やミュージックセラピシーの先生方、何もかもが当初は予想していなかったことでした。最初から恵まれた環境が強まったような気がします。』

女アナ「『まあ、実績積むとおっしゃいましたけど、私もお便りを読んでもましてね、思ったからパツとやっちゃうエネルギーというかパワー、これに勝るものはないって気がしますね。』

男アナ「まず行動を期す」

女アナ「そう」

三人「(苦笑)」

……という三分ちよつとのお便り紹介のコーナーでの出来事ごとでした。

ただお便りコーナーではありましたが、つくしんぼからお便りを出したわけではありませんが、NHKの担当の方が見て「ぜひ紹介したいので」と連絡を頂いたため、つくつく通信を送らせて貰ったという次第なのです。

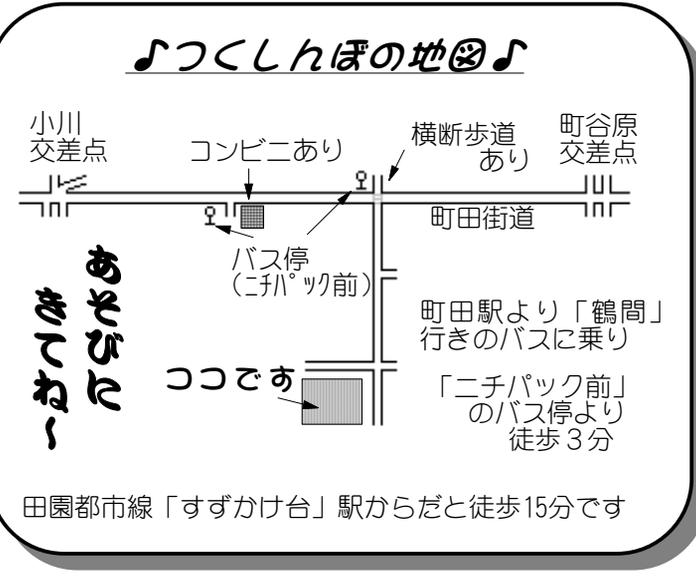
いやあ、つくしんぼホームページもすっかり仕事をしてきているみたいです。

「つくしんぼをささえる会」
ご入会 ご更新のお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを一昨年五月に開所し、おかげさまで今年四月より補助金を頂ける団体として認めさせて頂けることになりました。しかしながら、公的資金だけでは、運営が難しいことは相変わらぬです。そこで皆様にお願いがございまして、本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。よろしくお願ひ申し上げます。

私たちは、ハンディを持っておりまして。会員になつて頂いた方には、毎月、この機関誌「つくつく通信」をお届けさせて頂きます。年会費のお支払いは、関係者に直接お渡し頂くか、お近くの郵便局より下記の口座番号にお振込いただければ幸いです。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ



発行所 東京都世田谷区砧6-26-21
身体障害者団体定期刊行物協会 定価50円